

のぎわっ子

平成30年度
学校だより
磐田市立東部小学校
平成30年5月25日

5月会礼 **学びの基本は「聴く」こと** 校長 中村 忠裕

2枚の写真があります。この写真は、何をしているところでしょう。



答えは、話を聞いているところです。友達の発表や先生の話集中して、聞いている様子が、目や顔の表情から伝わってきます。素敵ですね。

「きく」ということは、**学びの基本**です。友達の発表や先生の話聞くことで、新しいことを知ったり、疑問に思ったことを考えたりすることができます。

さて、ここで漢字クイズです。『耳』＋『目』＋『十』＋『心』は、何という漢字になるでしょう。答えは、「聴く」という字です。「きく」という漢字は他にもあります。皆さんがよく知っているのは、「聞く」ですね。

(語源には諸説がありますが、子供たちに分かりやすいように話をしました。)

どのように使い分けるかという、と、「聞く」は、きこうとする気持ちがなくても自然に耳に入ってくるもの、一方の「聴く」は、きこう、わかろうという自分の気持ちをもって、身を入れて「きく」といったかんじです。皆さんには、この「聴く」を身につけて欲しいのです。「耳」だけでなく、プラス「目」と「心」できくことです。



たとえば、発表している友達がいたとします。その友達を見て(目)、発表している内容をわかろうとする気持ち、すなわち「心」できくということです。この写真がそうですね。

「聴く」ことは、話している相手を認めることで、東部小自慢のKTAの「T」にもつながります。友達を見て、友達の話をわかろうとする気持ちは、**友達を大切にしていること**になります。

さあ、5月は、「聴く」を身につけて、「みんなと学ぶ力」を伸ばしましょう。